

所 属	こども青少年課
所属長	玉城 友香
電 話	06-6423-9996

「第5回尼崎市学びと育ち研究所報告会～エビデンスに基づいた教育政策を目指して～」の開催について

尼崎市は、8月24日に「第5回尼崎市学びと育ち研究所報告会～エビデンスに基づいた教育政策を目指して～」を開催します。本市では、平成29年4月に、子ども一人ひとりの状況に応じ、実社会を主体的に生きていくために必要な力を伸ばしていけるよう、外部の研究者で構成する「尼崎市学びと育ち研究所」を設置し、科学的根拠(エビデンス)に基づく先進的研究を行っています。

1 日時

8月24日(水) 午前10時から正午まで

2 実施方法

当日、YouTubeで配信しますので、次のURLからパソコン等でご視聴ください。なお、ライブ配信後に録画分をYouTubeで閲覧することも可能です。

URL：<https://youtu.be/l1j92cusccI>

以下のQRコードを読み込んでいただくと、URLに直接アクセスできます。



3 実施内容

(1) 研究報告

- ア 大竹 文雄 所長(大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授)
「教育環境が学力に与える影響」
- イ 濱島 淑恵 主席研究員(大阪歯科大学 医療保健学部 教授)
「尼崎市におけるヤングケアラーの実態調査と課題解決に向けた手法の検討」
- ウ 中尾 繁樹 主席研究員(関西国際大学 教育学部 教授)
「学習や学校生活における困難を改善する指導に関する実践研究」
- エ 野口 緑 主席研究員(大阪大学大学院 医学系研究科 特任准教授)
「尼っこ健診・生活習慣病予防コホート研究」
- オ 北野 幸子 主席研究員(神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授)
「非認知的能力の育ちを捉え育む乳幼児教育・接続期教育の開発」
- カ 永瀬 裕朗 主席研究員(神戸大学大学院 医学研究科 特命教授)
「周産期から幼児期までの状況が発達や学力の向上に与える影響」
- キ 山口 慎太郎 主席研究員(東京大学大学院 経済学研究科 教授)
「尼崎市における「無園児」の状況調査及び就学後の影響に関する調査研究」

ク 藤澤 啓子 主席研究員（慶應義塾大学 文学部 教授）
「就学前教育の質が就学後の学力や健康に与える影響」

(2) 鼎談

演題：「就学前教育が小学校入学後に与える影響について」

講師：大竹文雄所長、藤澤啓子主席研究員、山口慎太郎主席研究員

以 上